

研究協力をお願い

昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院、昭和大学江東豊洲病院、昭和大学附属烏山病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

病院内の転倒転落の発生率とリスク因子の探索に関する調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年1月1日から2024年3月31日に昭和大学病院/附属東病院、江東豊洲病院、附属烏山病院に入退院した全ての患者さんのうち、18歳以上の成人を対象としています。

2. 研究目的・方法

1) 睡眠薬を使用している患者さんの入院中の転倒転落の発生率を明らかにし、2) 転倒転落を及ぼすリスクとなる事象を探し検討するとともに、3) 転倒転落発生時の追加医療費を加味した全医療費に関し、経済的な観点から睡眠薬間の差を評価します。

本研究は、入院中の最適な睡眠薬の選択を行う際に有用な情報を提供し、また転倒転落発生時の経済的な影響についても併せて検討することで、相次いで開発された新規睡眠薬を含めて医療経済の観点から新たな情報を構築する点に意義があります。

方法は、既存の診療情報とインシデントレポートを利用します。診療情報は病院内の診療録管理室にて「4. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載している情報から取得します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027年 3月 31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録、転倒転落が記載されたインシデントレポート内の記述内容

1) 分母情報：4病院の入院患者さんのべ約20万人の入院期間、年齢、性別、診療科、睡眠薬の使用の有無、DPCデータ

2) 分子情報(インシデントレポート)：転倒転落の有無、グレード、その他記述内容、レセプトデータ(追加医療費の評価に使用)

3) 追加医療費の評価：転倒転落患者のうち、20名を無作為に抽出し、レセプトデータを用いて推計の追加医療費を算出

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で収集した情報について、昭和大学以外への提供は該当いたしません。

6. 研究組織

【研究責任者】

昭和大学附属烏山病院、昭和大学薬学部病院薬剤学講座

林 裕佳子

【研究事務局】

昭和大学附属烏山病院、昭和大学薬学部病院薬剤学講座

小野 航太郎

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学附属烏山病院 薬局

氏名：林 裕佳子

住所：157-8577 東京都世田谷区北烏山 6-11-11

電話番号：03-3300-9369